

渋川市地域公共交通計画(案)に関する市民意見公募実施結果

□意見等の募集期間：令和3年1月4日～令和3年2月3日

□意見等の受付件数：2人、15件

1. 提出された意見等を項目ごとに整理し、意見等の概要として掲載します。

(1) 具体的な施策について

No.	提出いただいた意見等の概要	市の考え方
1	<p>「渋川市路線バスマップ」は便利だが、市民に認知されていないように感じる。</p> <p>市民に知っていただくため、バスの時刻表の改正と併せて、広報しぶかわに折り込む等、毎戸配布するのはいかがか。</p>	<p>市民等に公共交通を一層ご利用いただけるよう、バスマップや時刻表の充実に取り組むため、当該計画へ施策を取り込んでおります。</p> <p>広報媒体の配布方法については、財源や予算等を勘案しながら、毎戸配布を含め、市民に最も効果的にご案内できる手段を検討してまいります。</p>
2	<p>「渋川市路線バスマップ」は観光客には分かりにくいマップだと感じる。</p> <p>前橋市のバスマップは、主要観光地や施設がピクトグラムで表される等、分かりやすく記載されている。</p> <p>前橋市同様、記号やイラストで表現する、写真を載せる等、観光客に分かりやすく、手に取りやすい工夫が必要だと感じる。</p>	<p>市民等に公共交通を一層ご利用いただけるよう、バスマップや時刻表の充実に取り組むため、当該計画へ施策を取り込んでおります。</p> <p>掲載内容については、ご提案いただきました前橋市の例等を参考にしながら、より分かりやすい内容となるよう、改善を進めてまいります。</p>
3	<p>住民、観光客の双方に分かりやすい交通体系を構築するために「系統番号の導入」が必要だと感じる。</p> <p>渋川市の観光マップの施設紹介のページに、各施設にアクセスする系統番号を盛り込めば、観光客に分かりやすくなる感じる。</p>	<p>系統番号の導入では、交通拠点となるJR渋川駅前の駅前バス乗り場の整備との調整や、バス事業者が独自に運行している路線との整合が必要です。</p> <p>現在の計画案では、市民等に公共交通を一層ご利用いただけるよう、案内板の表記の改善等を施策に取り込むこととしました。ご提案につきましては、今後の公共交通サービスの改善に向けたバス事業者との話し合いの中で、議題として</p>

		取り扱ってまいります。
4	<p>「交通系 I C カードの導入」は、市内では一部の主要路線しか導入が行われていない。</p> <p>伊香保エリアを訪れる観光客や、鉄道を利用して通学している高校生の利便やその利用促進を考慮し、早急に取り組むべきだと感じる。</p>	<p>ご提案いただいた内容については、当計画策定の中心となった「渋川市地域公共交通再生協議会」においても委員からご意見をいただき、施策に取り込むこととしました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、非接触型の決済に対するニーズが高まっている中、実施にあたっては、スピード感をもって、取り組んでまいります。</p>
5	<p>伊香保温泉地内で、低床車両の普及を促進することは地形のため、ほぼ不可能である。</p> <p>バス車両に加え、それを取り巻く環境についても配慮すべき。</p>	<p>本市は「共生社会実現のまち 渋川市」として、障害がある人もない人も、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会の実現に向け、各種施策を展開しています。</p> <p>公共交通分野においても、様々な形でバリアフリー化に取り組んでまいります。が、実施にあたっては、本市の地勢等を踏まえ、各バス事業者と協議しながら、実現可能な取組を進めます。</p>
6	<p>伊香保温泉に乗入れている路線は、その路線でしか利用できないフリーパスを販売している。</p> <p>観光の周遊性を高めるためにも、共通の観光周遊フリーパスの販売を提案したい。</p>	<p>公共交通の利用促進を図るため、運行事業者との協働を進め、様々な形での企画乗車券の検討を進めることとし、計画案へ記載いたしました。</p> <p>検討にあたっては、観光周遊フリーパスを含め、各交通事業者と協議をしてまいります。</p>
7	<p>「群馬県共通バスカード」を伊香保タウンバスでも利用できるようにし、ゆくゆくは交通系 I C カードを導入して、観光客にも利用しやすいバスになってほしい。</p>	<p>ご提案につきましては、バス事業者が独自に運行している路線との整合が必要です。</p> <p>企画乗車券の検討と併せ、今後の公共交通サービスの改善に向けたバス事業者との話し合いの中で、議題として取り扱ってまいります。</p>
8	みなかみ町のような「バスカード」の	No.7の回答のとおりとなります。

	低価格販売はいかがか。	
9	路線バスの定時運行、歩行者の安全確保のため、渋川駅前のロータリーを、前橋駅北口や伊勢崎駅南口のように「公共交通ゾーン」と「一般車ゾーン」に分けて整備することを提案する。駅前交番を移動させ、タクシー乗り場と駅前プラザの道を改変すれば、十分な用地が確保できると考える。	渋川駅前のロータリーの改修は、早期の事業着手に向け、すでに整備計画の策定を進めているところとなります。この整備計画においては、ご提案のような公共交通と一般送迎の車両を分ける計画となっています。
10	新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染への不安からバスや鉄道の利用をためらう声が聞こえる。実際にはバスや鉄道は、換気能力に優れ、消毒などの対策も行っているため、安心を可視化することが重要だと考える。	ご提案の内容については、公共交通の維持・確保の観点から、喫緊の課題となっています。計画への掲載を待たず、可能なものから、スピード感をもって取り組んでまいります。
11	赤城地区の利便性を考えれば、北回りの循環線の導入では、赤城行政センターから宮田橋を目指し、利根川を渡った後に、渋川医療センター、ベイシア、とりせんに向かうルートとすべきと考える。	本計画案では、イメージ図を記載させていただきましたが、循環線の導入を含め、既存のバス路線のルート変更等にあたっては、法定の協議組織である公共交通会議の他、市民やバス事業者との対話を通じ、実際のニーズと合致した運行形態となるよう、丁寧に協議を重ねながら進めてまいります。
12	南回り（北橋町方面）の循環バスは、JR渋川駅だけでなく、渋川地区や医療センターに向けて運行できれば、素晴らしいと考える。	No.11の回答のとおりとなります。
13	風雨の中での、バスの待合は辛いので、ログハウス型の待合所設置の考え方は素晴らしいと思う。	利用者の利便性を高めるため、バス待ち環境の改善について、当該計画へ施策を取り込みました。実施にあたっては、ご提案を参考とさせていただきます。
14	定額料金制度を導入していただきたい。	利用者の利便性を高めるため、運賃体系の見直しについて、当該計画へ施策を取り込みました。

		実施にあたっては、ご提案を参考とさせていただきます。
15	分かりやすい案内板があると助かる。	公共交通の利用促進を図るため、JR渋川駅前の案内板の更新について、当該計画へ施策を取り込みました。 今後も必要な方に必要な情報をお届けできるよう、公共交通に関する情報発信について、研究を行ってまいります。

□問い合わせ先：建設交通部交通政策課 TEL：0279-22-2264
 FAX：0279-22-2132
 E-mail：koutuu@city.shibukawa.gunma.jp